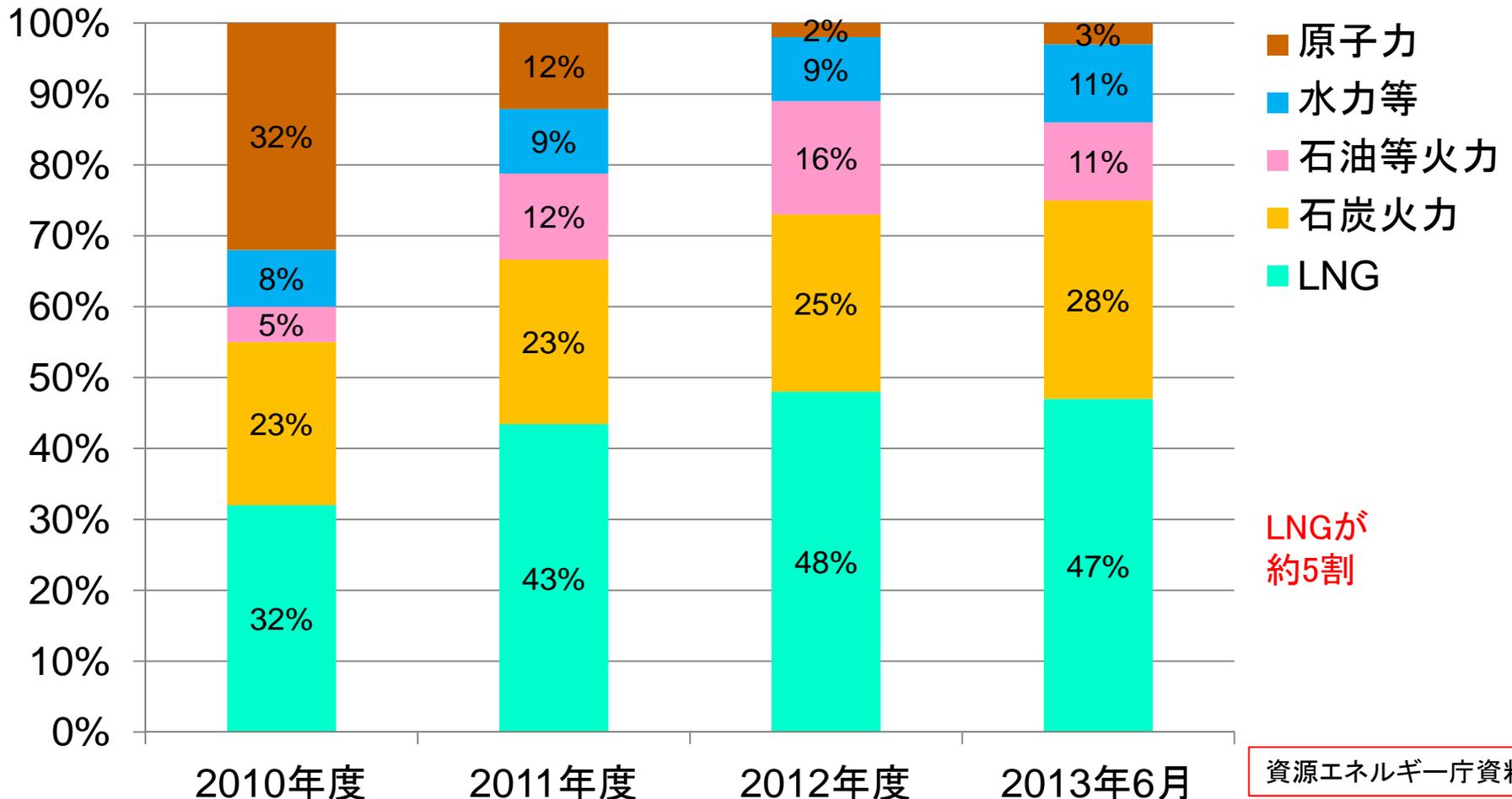


# 我が国のエネルギー調達を取り巻く状況

# 我が国のエネルギー供給源(電力)の推移

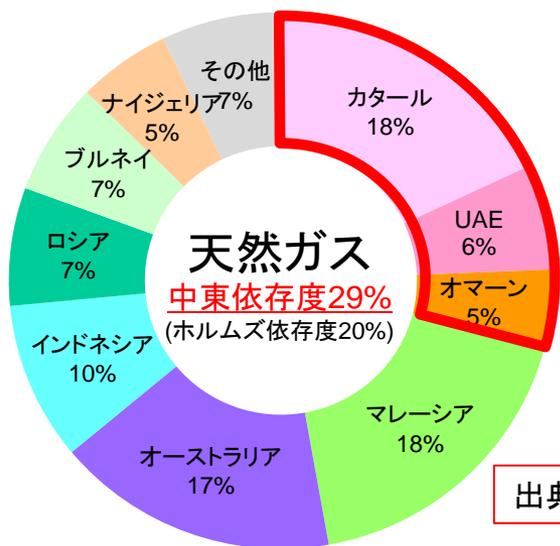
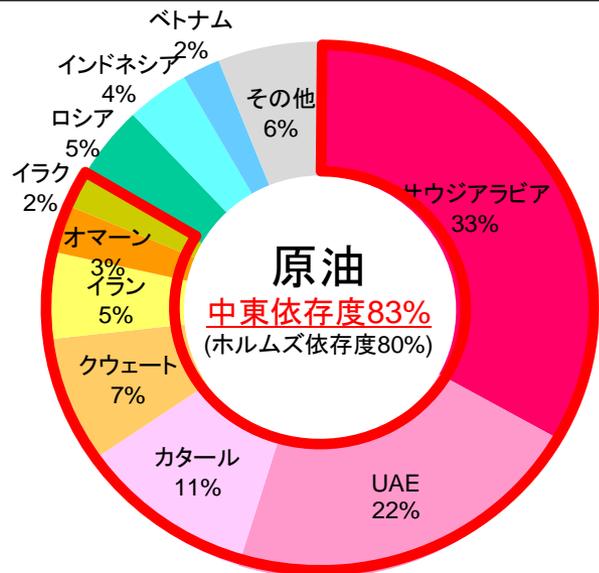
○震災後、火力発電比率は約9割まで上昇しており、特にLNG火力が5割近くにまで高まっている。

電気事業者(一般・卸)の電源構成推移(発電電力量比率)

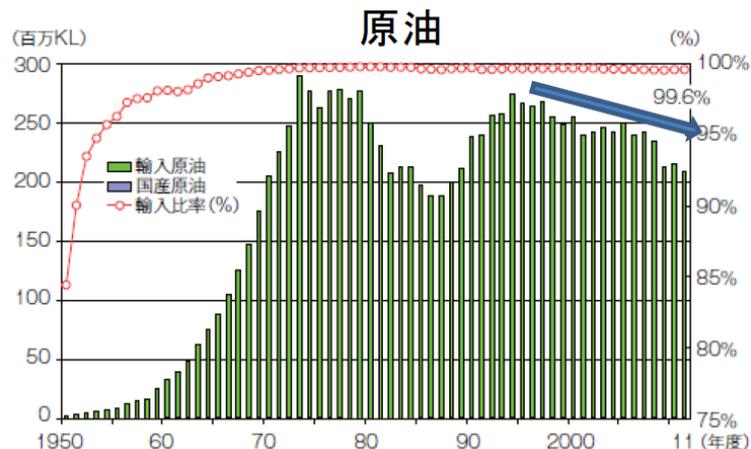


# 化石燃料の輸入の状況

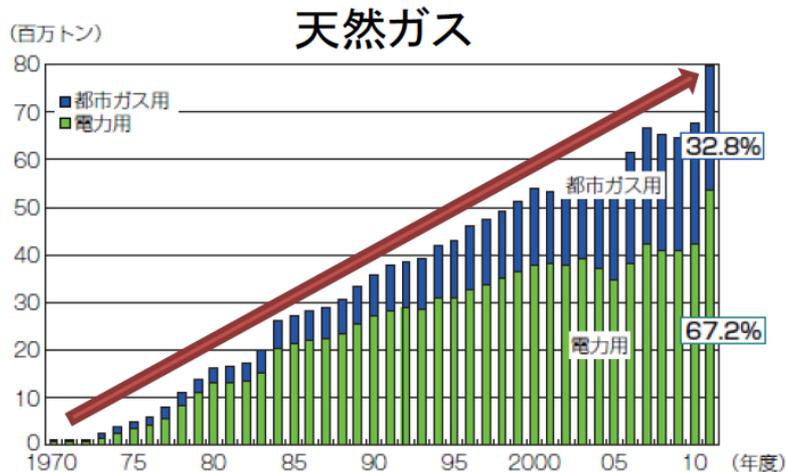
- 天然ガスは、原油に比べ、中東依存度が低い。
- 輸入量が年々増加しているが、震災以降、その増加が急激になっている。



出典:貿易統計



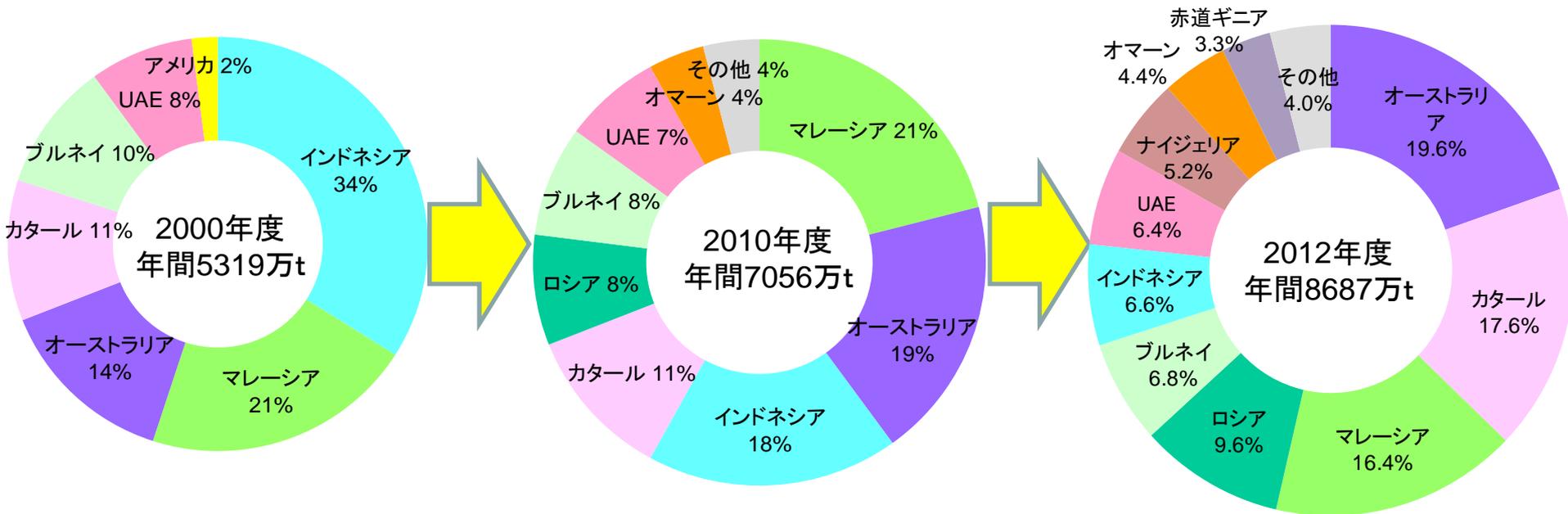
(出所) 資源エネルギー庁「資源・エネルギー統計年報・月報」、石油連盟「石油資料月報」をもとに作成



(出所) 経済産業省「エネルギー生産・需給統計年報」、「電力調査統計月報」、財務省「日本貿易月表」、経済産業省「ガス事業統計月報」

# 我が国のLNG調達先

- 我が国は、これまで資源外交の積極的な展開及びエネルギー・環境分野における国際協力の推進により、天然ガスの調達先の多様化や国際的なエネルギー需給の緩和を図り、安定供給の確保に努めてきた。
- 現在、ガス事業者及び電気事業者は、長期契約を中心としてLNG(液化天然ガス)を調達している。また、短期契約・スポット調達を組み合わせることにより、調達手段の多様化・柔軟化を図っている。
- 今後は北米からの輸入開始に伴い、更なる調達先の多様化と価格交渉力の強化が期待される。

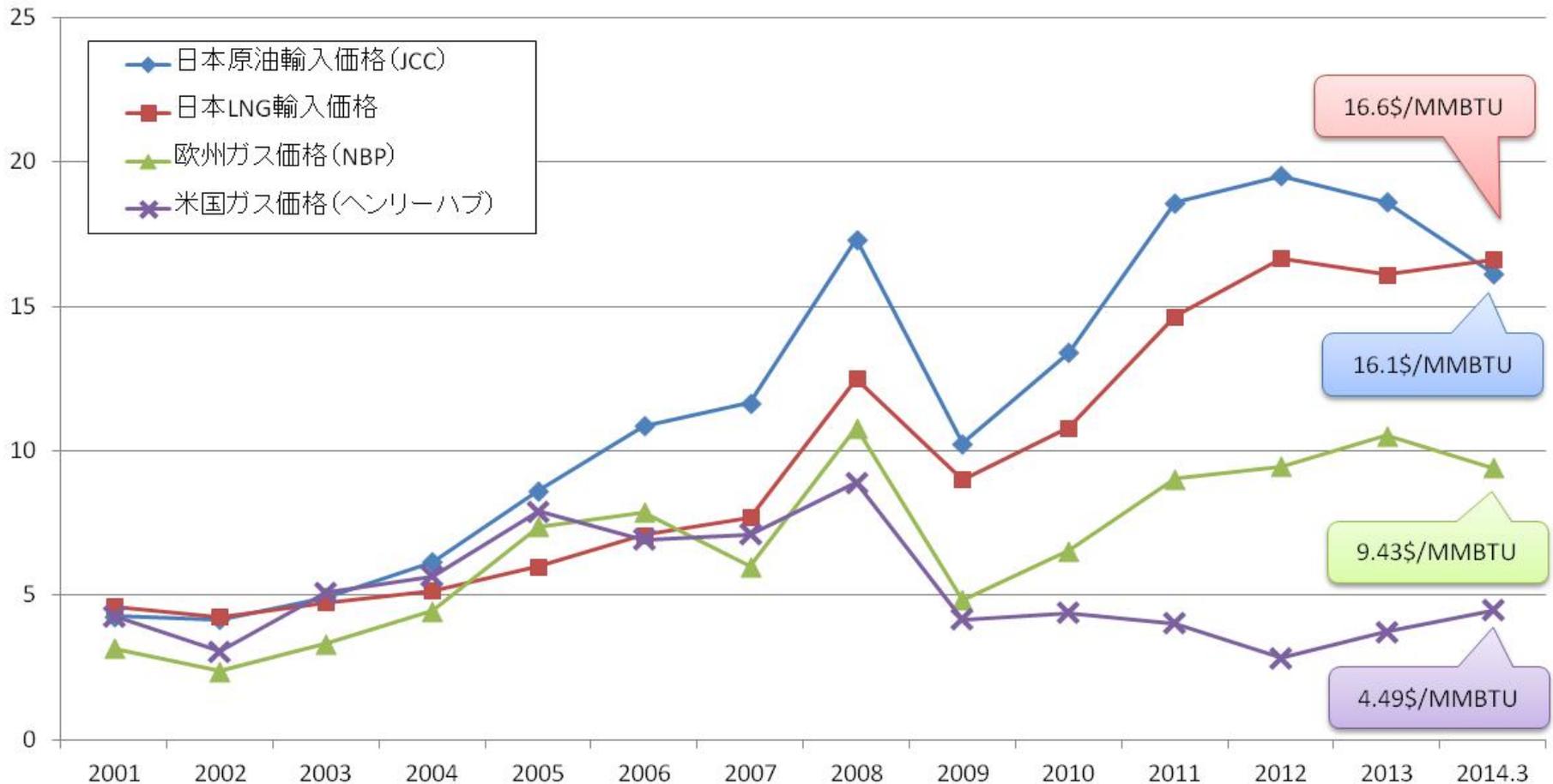


出典:貿易統計

# 日・米・欧の天然ガス調達価格推移

○我が国の天然ガスの調達価格は、石油価格にリンクして高止まりしており、どのように低減していくかが課題となっている。

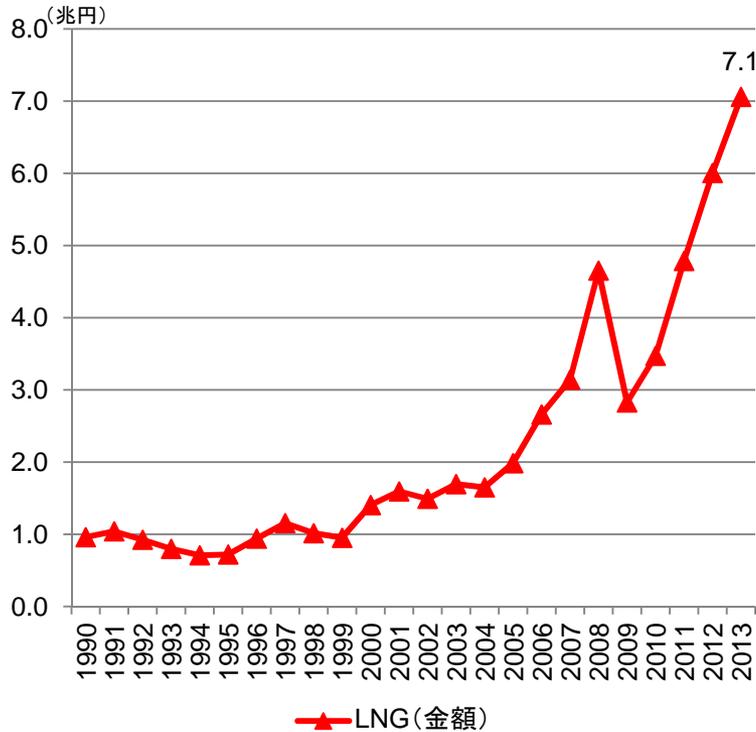
○一方、米国はシェールガス産出により天然ガス調達価格が低減。



# 貿易収支・経常収支の推移

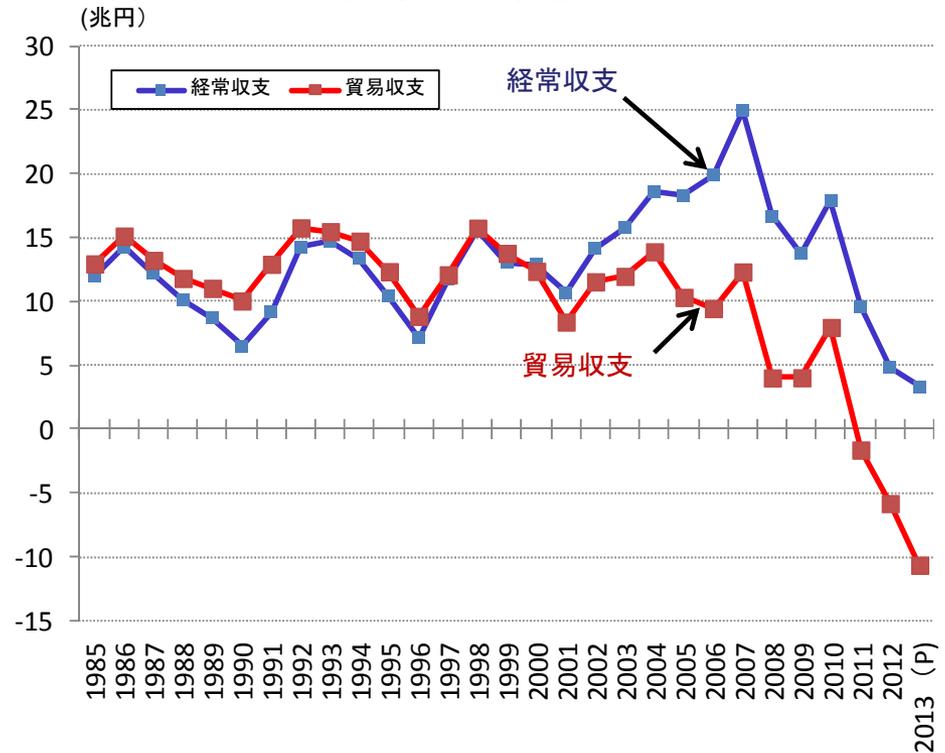
- 我が国の貿易収支は、2008年のリーマンショック以降黒字幅が大幅に減少しており、2011年の東日本大震災以降は、LNGの輸入増などにより貿易収支が赤字化。
- それに伴い、経常収支も急速に黒字幅が縮小している。

## LNGの輸入額の推移



(出典)財務省「貿易統計」

## 経常収支・貿易収支の推移(1985-2013)



- (出典)財務省「国際収支状況」「貿易統計」、総務省「日本の長期統計」、  
 (注)1. 原油価格は、各年の通関ベースの原油輸入価格(輸入数量/輸入金額)を東京市場インターバンク直物相場(17時現在)の月平均値の単純平均により、換算したもの。  
 2. 2013年の経常収支及び貿易収支は速報値。